年10万台以上 稼働率回復図る

RVRの世界販売台数は約15万5千台（16年度）で全体の2割弱を占める世界戦略車。国内では岡崎製作所（愛知県岡崎市）で年約13万8千台を造ってきたが、新型SUVの生産開始などを受け、水島に生産移管。来年3月末までに全量を移す。生産ラインは、15日で生産終了した輸出用普通車「ランサー」（16年度約5万4千台）の

工場評価システムへ入などを語る益子C

する方針を示した。完成車工場50カ所のうち、水島製作所は「中位程度」とみられ、検査工程の自動化などで評価アップを目指す。

少で受注が減る部品メーカーも出てくるだろう。彼らの新技術への挑戦や海外展開を後押しできれば」と述べた。（久岡広和）

LAPO 新光触媒の消臭剤発売

靴や車内用 暗所でも効果

雑貨販売のLAPO（玉野市後閑）は、光が届かない場所でも働く新たな光触媒技術で、悪臭の原因成分を分解する消臭剤を発売した。持続性が高く、靴やクローゼット、自動車内などにも使えるのが特長。家庭や事業所向けに販路拡大を目指す。

消臭剤は「消臭パワー達人」。化学系ベンチャーの希少金属材料研究所（同市宇野）が今春開発した暗所でも反応する光触媒技術を初めて実用化。触媒作用をする「タングステン酸アンモニウム化合物」の微粒子が入った水溶液に、抗菌性能を高める銀と銅のナノ粒子を添加している。

新たな光触媒技術を使った消臭パワー達人

今回の光触媒技術は、民間検査機関などの試験で、暗い場所でも悪臭のもとになるアンモニアや有害物質のホルムアルデヒドを分解する効果が確認されている。液が付着して臭い成分と反応し続けるため、効果が長持ちするという。

1本500ミリリットル入り1620円で、月5千本の販売を目指す。LAPOの浅野幸子社長は「車内のたばこ臭やトイレ、靴、衣服の汗の臭いなどを低減できる。いろんな場所に使えることをアピールしていきたい」と話している。問い合わせはLAPO（0863-41-2235）。（大島望）

リニューアルしたトミヤユーロサロン店

売のトミヤコーポレーション（岡山市）は、欧州の一流ブランドなどを扱う「トミヤユーロサロン」（同市北区表町）

ある内装を施したほか、フランスの「カルティエ」、オランダの「ロイヤル・アッシャー」、若者に人気の「アーカー」など19ブランドを厳選し、腕時計やジュエリー、ブライダル用など約1800点を販売している。大規模改装は200

4年の開店以来、初めて。同店は「本格的な高級時計の品ぞろえも増やした。幅広い世代に浸透を図りたい」としている。（大島望）

野津氏（日本カバヤ・HD会長）冥福祈る

岡山 お別れの会に2100人参列

約2100人が参列した野津氏の社葬・お別れの会

カバヤ食品、オハヨー乳業などの持ち株会社、日本カバヤ・オハヨーホールディングス（HD、岡山市北区駅元町）の会長で、11月24日に死去した野津喬氏の社葬・お別れの会が20日、同市内のホテルで営まれ、政財界関係者ら約2100人が冥福を祈った。

葬儀委員長の岡崎彬岡山県商工会議所連合会長が「地方企業の全国進出という目標に向け、強力なリーダーシップでさまざまな改革や創造に取り組んだ」とたたえ、哀悼の意を表した。参列者は白いバラを献花台に手向け、静かに手を合わせていた。

野津氏は1968年、オハヨー乳業常務に就任し、75年に社長、87年にカバヤ食品社長に就いた。2016年からはグループ12社の持ち株会社の同HD会長を務めていた。日本青年会議所会頭などを歴任した。（岸本渉）

地場産品売り込め

農家100人募集

岡山県内の食品加工業者など15社・団体でつくる「県『食』の一次加工協議会」（事務局・岡山直売所ネットワーク）と、加工業者、小売業者ら約

6日、岡山

者と交流会

・魚宗フーズ（同市）の

コンベンションセンター（岡山市北区駅元町）で開く。県内を中心とする食品加工業

山本雅史社長らが「岡山県農業・製造業へのエール」をテーマに講演するほか、パネルディ

時間は午後3時～7時半。参加費はパーティーの食事代を含め4千円。農家の定員は100人程度。12月28日までに事務局へファクス（086-728-0295）で申

オープン投信 20日

（基準価格・単位円、△前日比高▲安）

中銀アセット

日経225 27273 △

未来のゆめ 12922 △

14 コア安定 10332 0

生シイタケ 岡山0.1㌔ 237 75 -
エノキタケ 岡山0.2㌔ 86 -
青ダイコン(〃) 227 65
カブ(〃) 173 54
中生ミカン 和歌山10㌔ 4644 2268
普通ミカン 香川10㌔ 3024 648
カツオ 類 540 -
各地 各地 594 -
216
108
ビサ
エシ ラ